

事 務 連 絡
平成24年12月10日

各都道府県消防防災主管部（局）長 様

消防庁救急企画室長

自己注射が可能なエピネフリン製剤（エピペン）
使用事案に関する調査終了について（通知）

平素より、救急業務の推進にご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

自己注射が可能なエピネフリン製剤（エピペン）使用事案に関する調査に係る報告については、消防庁として適切な運用がなされているかを含めたエピペンの使用事案等の実態を把握するため、「自己注射が可能なアドレナリン製剤（エピペン）使用事案に関する調査について」（平成22年7月13日付け事務連絡）にて情報提供いただいているところです。

平成25年1月1日より、エピペン使用事案については、救急調査オンライン処理システムの新入力項目により報告いただくこととなるため、平成24年12月31日覚知までの救急事故をもって、当該調査を終了します。

つきましては、貴都道府県消防本部（消防の事務を処理する一部事務組合を含む。）に対し、この旨ご周知いただきますようお願いいたします。

問い合わせ先
消防庁救急企画室
鮫島・渡部
電話：03-5253-7529

参 考

事 務 連 絡

平成22年7月13日

各都道府県
消防防災主管部(局)担当者 様

消防庁救急企画室

自己注射が可能なアドレナリン製剤（エピペン）使用事案 に関する調査について（依頼）

平素から救急行政にご理解とご協力をいただき御礼申し上げます。

昨年度、厚生労働省より「救急救命処置の範囲等について」の一部改正について」（平成21年3月2日付け医政指発第0302001号厚生労働省医政局指導課長通知）が発出され、「救急救命処置の範囲等について」（平成4年3月13日付け指発第17号厚生省健康政策局指導課長通知）の一部が改正され、消防機関（救急救命士）において、自己注射が可能なアドレナリン製剤（エピペン）によるアドレナリンの投与を行うことが可能となりました。これを受け、消防庁より「救急救命処置の範囲等について」の一部改正について」（平成21年3月4日付け消防救第60号）を消防機関に周知したところであり、その後、各地域においてプロトコルの策定、研修及びオンラインでの助言体制等が整備され、現場における処置がなされているところです。

総務省消防庁としては、消防機関として適切な運用がなされているかを含めて、エピペン使用事案等について把握するため、当分の間、下記のとおり調査を実施いたします。

なお、本調査は将来的には救急年報報告に組み込む予定であり、その際には改めて報告要領について通知いたします。

つきましては、貴都道府県消防本部（消防の事務を処理する一部事務組合を含む。）に対し、本依頼を送付のうえ、周知願います。

記

1 報告対象事案

- (1) 傷病者がエピペンを携帯しており、アナフィラキシーショック症状であり、救急救命士がプロトコルに従ってエピペンを使用したもの。

(2) 傷病者がエピペンを携帯しており、アナフィラキシーショック症状であり、プロトコール適応事案であったが、何らかの理由により救急救命士がエピペンを使用しなかったもの。【本人、家族等がエピペンを使用したものを含む】

2 報告要領

(1) 上記 1 (1) の事案は、別紙様式 1 (添付書類含む) により、1 (2) の事案は別紙様式 2 (添付書類含む) により、それぞれ別添 1、2 を参照のうえ、各消防本部で作成し、消防防災主管部 (局) 経由で消防庁へ電子メールで報告すること。

(2) 各消防本部で報告対象事案発生ごと、随時とする。

3 添付書類

地域エピペンプロトコール

4 報告期限

事案発生ごとにできるだけ速やかに行うものとする。

問い合わせ

消防庁救急企画室

長谷川、梅澤、庄司

E-mail : t.shouji@soumu.go.jp

電 話 : 03-5253-7529

救急救命士によるエピペン使用事案

消防本部名 _____

プロトコール運用開始日 _____

- 1 覚知日時
- 2 発生場所
- 3 要請概要（年齢・性別含む）
- 4 観察結果（接触時の主訴・バイタルサイン・症状等・現病歴含む）
- 5 活動概要等（出動から病院到着までの症状変化等含む、時系列による）
- 6 搬送医療機関等（傷病名、程度含む）
- 7 その他

救急救命士によるエピペン未使用事案

消防本部名 _____

プロトコール運用開始日 _____

- 1 覚知日時
- 2 発生場所
- 3 要請概要（年齢・性別含む）
- 4 観察結果（接触時の主訴・バイタルサイン・症状等・現病歴含む）
- 5 活動概要等（出動から病院到着までの症状変化等含む、時系列による）
- 6 搬送医療機関等（傷病名、程度含む）
- 7 エピペン未使用に至った理由
- 8 その他

救急救命士によるエピペン使用事案

消防本部名 ●●●消防本部プロトコール運用開始日 H●●●年●月●日

- 1 覚知日時
平成●●年●●月●●日 ●●時●●分
- 2 発生場所
●●都（道府県）●●区●●●●●●
- 3 要請概要（年齢・性別含む）
●●歳●●性、●●●～～●●●で救急要請となったもの。
- 4 観察結果（接触時の主訴・バイタルサイン・症状等・現病歴含む）
主訴：●●
意識：●●、呼吸：●●、脈拍：●●、血圧：●●、SpO2：●●%、体温：●●℃、
●●紅潮、●●部に発疹、●●部腫脹等
現病歴：●●
- 5 活動概要等（出勤から病院到着までの症状変化等含み、時系列による）
覚 知：●●時●●分
現場到着：●●時●●分
接 触：●●時●●分～傷病者の状態、本人・家族等からの聴取事項・やり取り、処置内容等
車内収容：●●時●●分～バイタルサイン・症状変化等
現場出発：●●時●●分～バイタルサイン・症状変化等
（指示・助言要請時間）
使用時間：●●時●●分～バイタルサイン・症状変化等
病院到着：●●時●●分
- 6 搬送医療機関等（傷病名、程度含む）
●●救命救急センター、●●ショック、●●症
- 7 その他
医師のコメント、病院内の処置、転帰等の特筆できるものを記載

救急救命士によるエピペン未使用事案

消防本部名 ●●●消防本部プロトコール運用開始日 H●●●年●月●日

1 覚知日時

平成●●年●●月●●日 ●●時●●分

2 発生場所

●●都（道府県）●●区●●●●●

3 要請概要（年齢・性別含む）

●●歳●性、●●●～～●●●で救急要請となったもの。

4 観察結果（接触時の主訴・バイタルサイン・症状等・現病歴含む）

主訴：●●

意識：●●、呼吸：●●、脈拍：●●、血圧：●●、SpO2：●●%、体温：●●℃、
●●紅潮、●●部に発疹、●●部腫脹等

現病歴：●●

5 活動概要等（出勤から病院到着までの症状変化等含む、時系列による）

覚 知：●●時●●分

現場到着：●●時●●分

接 触：●●時●●分～傷病者の状態、本人・家族等からの聴取事項・やり取り、処置内容等

車内収容：●●時●●分～バイタルサイン・症状変化等

現場出発：●●時●●分～バイタルサイン・症状変化等

（指示・助言要請時間）

病院到着：●●時●●分

6 搬送医療機関等（傷病名、程度含む）

●●救命救急センター、●●ショック、●●症

7 エピペン未使用に至った理由

●●●～～●●●でエピペン使用ができなかった。

（本人・家族等の使用時間：●●時●●分頃）

8 その他

医師のコメント、病院内の処置、転帰等の特筆できるものを記載